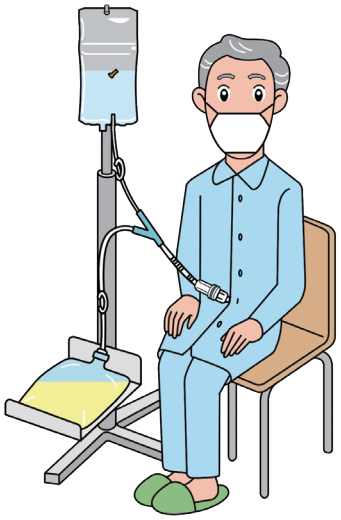
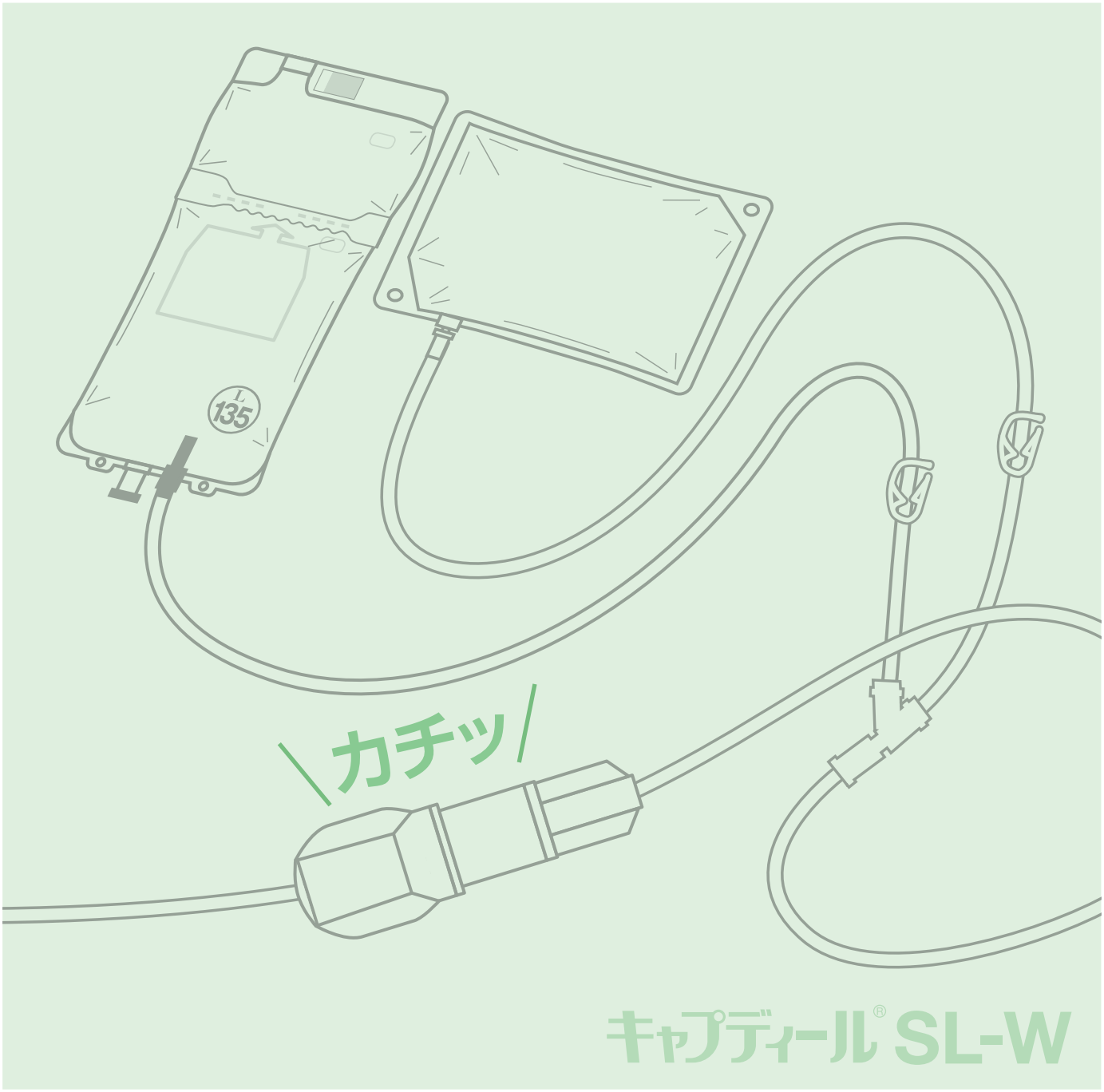
テルモ腹膜透析システムを使用されている方へ



テルモ腹膜透析システム

クリックセーフTM 操作手順 簡易版



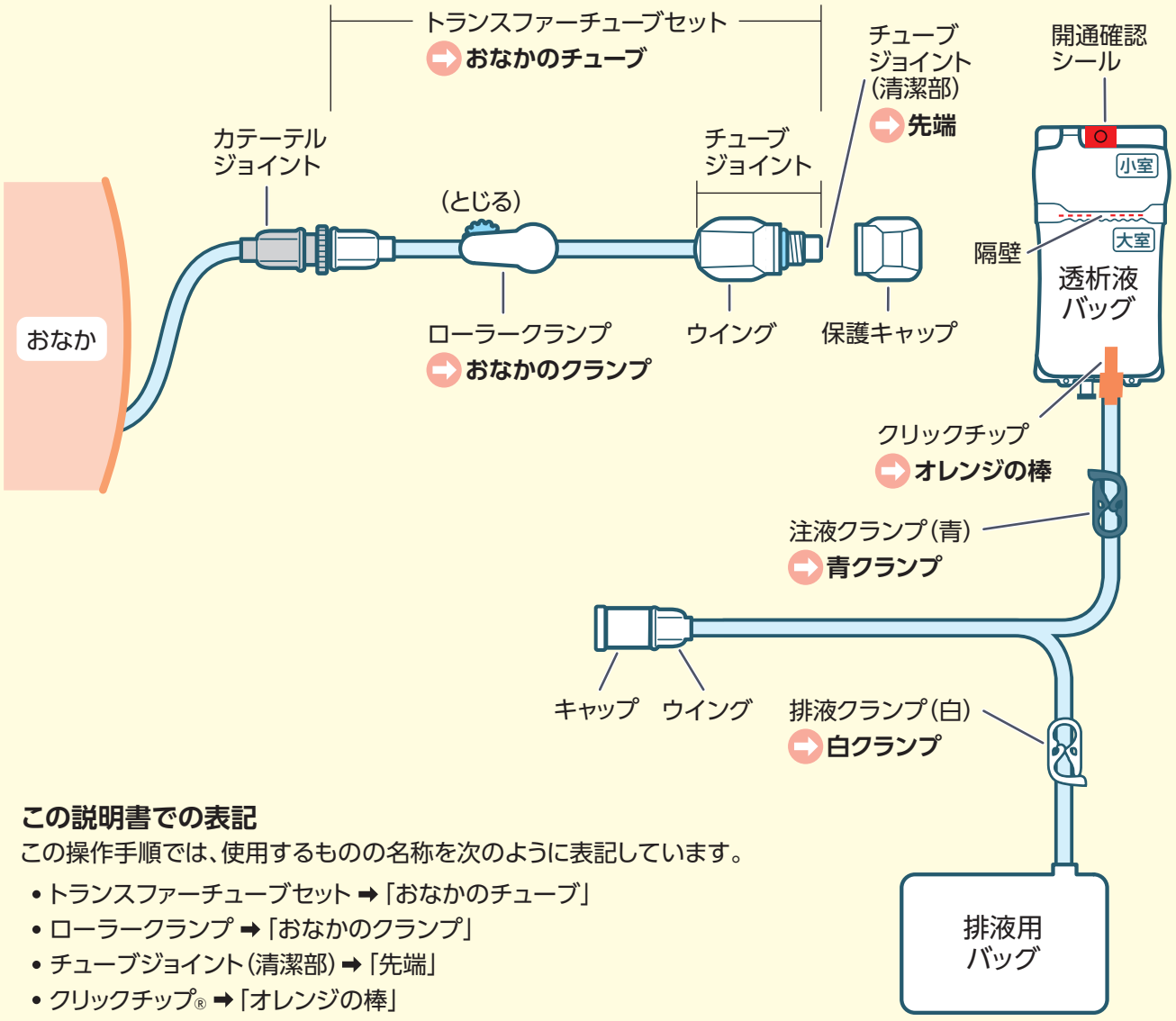
テルモ株式会社

医療機関の指導のもと、正しく使用してください。

必要物品

① マスク、保護キャップ（予備も含め2個）
② 透析液バッグ…排液用バッグ付の腹膜透析液
③ はかり、下敷き…排液確認用
④ 記録ノート、ペン、時計
⑤ スタンドまたはS字フック…透析液を吊るす
〔⑥ プラスチッククランプ（緑）…操作中止時用〕

各部の名称



この説明書での表記

この操作手順では、使用するものの名称を次のように表記しています。

- トランスファーチューブセット ➡「おなかのチューブ」
- ローラークランプ ➡「おなかのクランプ」
- チューブジョイント（清潔部）➡「先端」
- クリックチップ® ➡「オレンジの棒」
- 注液クランプ（青）➡「青クランプ」
- 排液クランプ（白）➡「白クランプ」

透析液バッグの取扱い上の注意

- バッグは柔らかいプラスチック製です。液もれの原因になるので、鋭利なものなどで傷つけないでください。また、冬場のような低温下では、バッグが破損しやすくなるので注意してください。
- 強い衝撃を加えて隔壁を開通させると、バッグが破損する場合があるため、取扱いに注意してください。

毎回必ず実施：操作前に必ず環境整備を行い、必要物品を準備する。・ペットが出入りしない、清潔

準 備

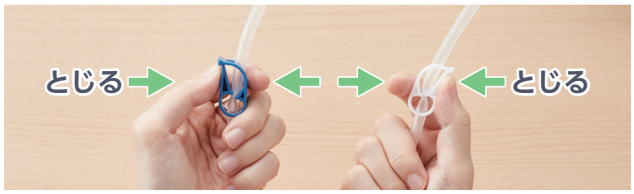
1 手洗い後、マスクを着用し、
保護キャップを準備する。

注意 ・保護キャップの包材に破れがある場合は、使用しない。

2 使用する透析液バッグを確認し、袋から取り出す。

注意 ・包材に破れが認められる場合は、使用しないこと。

3 青クランプ、白クランプをとじる。透析液バッグを確認後、隔壁を開通し、よく混ぜる。



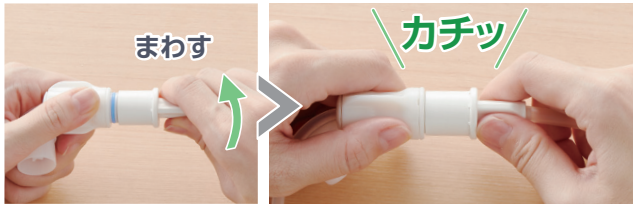
注意 ・以下の透析液バッグは使用しない。
- 液もれ、にごり、異物がある。
- 開通操作前に、すでに隔壁が開通していた。
- 開通操作により液もれが生じた。また、バッグを強くつかんで液がもれた。
- キャップがはずれた。

4 おなかのチューブを取り出し、
おなかのクランプがとじていることを確認する。

バッグをつなぐ

1 おなかのチューブから
保護キャップをまわしてはずす。

2 透析液バッグのキャップをはずし、
おなかのチューブにカチッと音がするまで
まわして接続する(ウイングがそろう)。



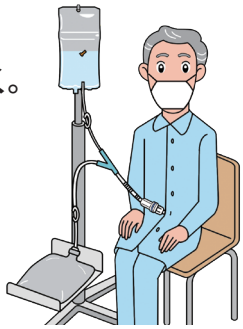
注意 ・菌の侵入を防ぐために、以下のことに注意する。

先端を上に向けない　　先端内側にふれない

・はずした保護キャップは再使用しない。

3 透析液バッグのオレンジの棒を折り、
バッグ内に浮いていることを確認する。

4 透析液バッグを吊るし、
排液用バッグを
おなかより低い位置に置く。



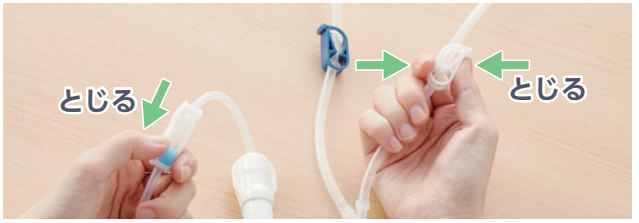
注意 ・開通確認シールをはがす際、小室(上側)に液が残っていない(隔壁開通している)ことを確認する。

で明るい部屋で行う。・窓やドアを閉める。・交換場所に、冷暖房機の風が直接当たらないようにする。

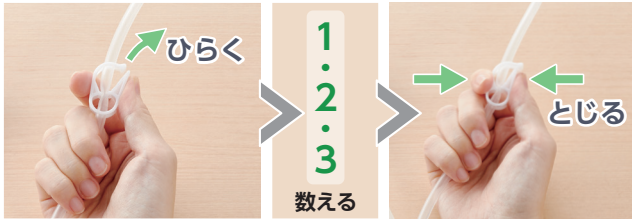
排液…プライミング…注液

1 おなかのクランプと白クランプをひらき、排液を始める。排液が終了したら、おなかのクランプと白クランプをとじる。

排液(約15分)



2 青クランプをひらく。白クランプをひらき、3つ数えてからとじる(プライミング)。



3 おなかのクランプをひらき、注液を始める。注液が終了したら、おなかのクランプと青クランプをとじる。

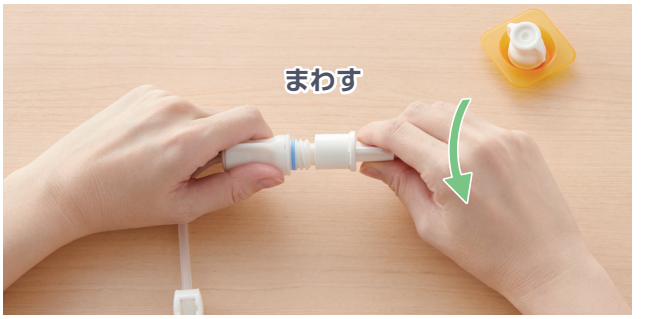
注液(約10分)

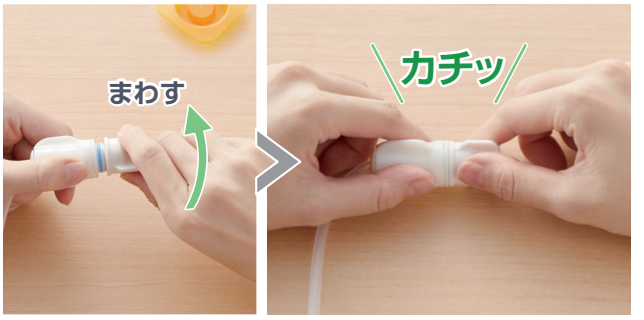
注意 ・液が流れないときは、接続部(ウイングがそろっているか)を確認する。

バッグをはずす

1 保護キャップを袋から取り出し、台座から取りやすくするためにまわし、浮かせておく。

2 透析液バッグをおなかのチューブからまわしてはずし、新しい保護キャップをカチッと音がするまでまわし、取りつける(ウイングがそろう)。





注意 ・菌の侵入を防ぐために、以下のことに注意する。

先端と保護キャップを上に向けない

保護キャップ内側にふれない

先端内側にふれない

排液後は排液に異常がないか必ず確認してください

排液用バッグの重さをはかり、記録ノートに記入する。

一回の除水量は、
今回の排液量から前回の注液量を差し引いた値です。

除水量 ＝ 今回の排液量 − 前回の注液量

参考　1000mL SL-W ：約1200g
1500mL SL-W ：約1700g
2000mL SL-W ：約2250g
2500mL SL-W ：約2800g

注意　・排液用バッグの落下及び取扱いに十分注意する。
破損する可能性がある。

排液の状態を、下記のチェックリストを見ながら確認し、記録ノートに記入する。

チェックリスト　※注意深く観察！

- □ 澄んでいる
- □ フィブリンがない
- □ にごりがない
- □ 沈殿物・浮遊物がない
- □ 血性になっていない

フィブリンが
浮遊している
イメージ

排液がにごっている場合は、排液は捨てずに保管し、かかりつけの医療機関に連絡する。
あらかじめ医師の指示がある場合は、それに従ってください。

取扱い上の注意

〈誤った操作時の対処方法〉

・透析液バッグの仕切り部分（隔壁）を開通せずに使用した

対処方法

ただちに排液し、かかりつけの医療機関の指示に従ってください。

・透析液バッグの破れや液もれに気付かず使用した

対処方法

ただちにかかりつけの医療機関に連絡し、指示に従ってください。
※腹膜炎になる可能性があります。
　排液をする、薬をのむ、受診するなどかかりつけの医療機関の指導に従ってください。

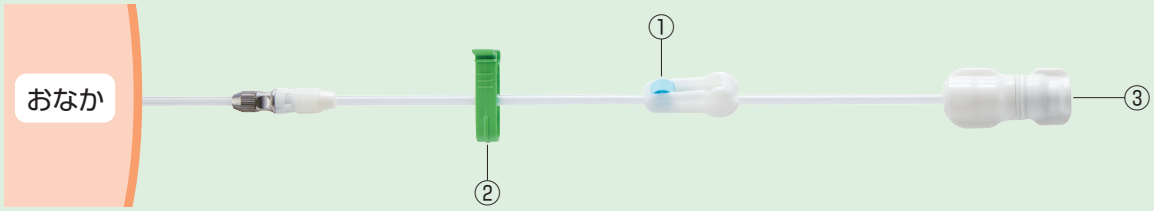
・おなかのチューブの接続部、通液部を不潔にした

（例）おなかのチューブの先端内側にふれた
　　接続部から液がもれた
　　接続部分の割れなどに気付かず使用した
　　おなかのチューブのチューブジョイントにひび割れがあった

対処方法

操作を中止し、かかりつけの医療機関の指示に従ってください。

操作の中止方法



① ただちにおなかのクランプをとじる。
② おなかのクランプよりおなかに近いところをプラスチッククランプ（緑）で止める
　（または、2か所しばる）。
③ 新しい保護キャップをつける。
　保護キャップがつけられない場合は消毒液（ポビドンヨード液など）を含ませた滅菌ガーゼで包み、
　ビニール袋などでおおって保護する。

⚠ **使用しないこと。**
※ そのまま使用すると腹膜炎になる可能性があります。
※ 薬をのむ、受診するなどかかりつけの医療機関の指導に従ってください。

わからないことがありましたら、医療機関にお問い合わせください。

高度管理医療機器　再使用禁止　一般的名称：腹膜灌流液注排用チューブ及び関連用具セット　販売名：キャプディールトランスファーチューブセット　医療機器承認番号：16200BZZ00326000
高度管理医療機器　再使用禁止　一般的名称：腹膜灌流用回路及び関連用具セット　販売名：キャプディール保護キャップセット　医療機器承認番号：22400BZX00243000

※仕様は一部変更することがあります。

記載されている社名、各種名称は、テルモ株式会社および各社の商標または登録商標です。
©テルモ株式会社 2022年7月
22T165-1SZ5SZ2207

TERUMO

製造販売業者 **テルモ株式会社** 〒151-0072 東京都渋谷区幡ヶ谷2-44-1　www.terumo.co.jp